
2007年3月期 中間決算説明会

株式会社 トクヤマ

2006年11月10日



説明内容

1. 中間決算説明
2. 通期業績予想
3. トピックス
4. 補足資料



1. 中間決算説明

(1) 決算概要

(2) 決算要因分析

(3) 業績推移



1-(1) 決算概要

(億円)

	06/上		05/上		増 減			
	連結	単体	連結	単体	連結		単体	
【損益状況】					金額	%	金額	%
売上高	1,417	934	1,237	805	+179	14	+129	16
営業利益	151	120	103	69	+ 47	45	+ 50	72
経常利益	136	118	88	65	+ 47	53	+ 53	81
当期純利益	80	72	56	45	+ 24	42	+ 27	60
	06/9		06/3		増 減			
	連結	単体	連結	単体	連結		単体	
【資産状況】								
総資産	3,618	3,080	3,611	3,068	+ 7		+ 12	
純資産	1,878	1,694	1,790	1,660	+ 88		+ 33	
自己資本比率	50.6%	55.0%	49.6%	54.1%	+1.0%		+0.9%	

※06/9期の連結純資産は少数株主持分46億円を含む



1-(2) 決算要因分析

- ① 当中間期決算のポイント
- ② セグメント別 増減要因
- ③ セグメント別 売上高/営業利益
- ④ 営業外損益明細(連結)
- ⑤ 特別損益明細(連結)



① 当中間期決算のポイント

- 化学品は製品価格を是正するも、原燃料高騰とのタイムラグにより減益
- 多結晶シリコンの価格是正が営業増益に大きく貢献

売上高：単体 +129億円、連結 +179億円

◆ 単体：概ね価格要因による増収

(価格要因) 多結晶シリコン、塩ビ(VCM)、PO、苛性ソーダ、IPA

(数量要因) 資源環境事業、塩ビ(VCM)、特殊品の機能材料全般

◆ グループ会社

(価格要因) 新第一塩ビ(PVC)、サン・トックス(OPPフィルム)

(数量要因) サン・トックス、シャノン、関西トクヤマ販売(連結期間の影響)

売上原価：単体 ▲68億円、連結 ▲116億円

▲：損益に対してマイナス

◆ 原燃料価格上昇による原価アップ

※ 関西トクヤマ販売 連結期間による影響 ▲25億円



②セグメント別 増減要因：化学品

(億円)

	売上高			営業利益		
	06/上	05/上	増減	06/上	05/上	増減
トクヤマ	402	351	+ 50	16	15	+ 0
グループ会社	150	135	+ 14	16	20	▲ 4
化学品 計	552	487	+ 65	32	36	▲ 3

	売上高要因	営業利益要因
トクヤマ	クロルアルカリ 苛性ソーダ、PO価格是正等により増収 塩ビ(VCM) 価格是正により増収 NOC IPA価格是正により増収	クロルアルカリ 価格是正等により増益 塩ビ(VCM) 原料コストUPを吸収 NOC 原料コストUPを価格是正で補えず減益
グループ	新第一塩ビ(PVC) 価格是正により増収 サン・トックス 販売数量増、価格是正により増収	新第一塩ビ(PVC) 原料コストUPを価格是正で補えず減益 サン・トックス 販売数量増、価格是正により増益



セグメント別 増減要因：特殊品

(億円)

	売上高			営業利益		
	06/上	05/上	増減	06/上	05/上	増減
トクヤマ	327	255	+ 72	113	61	+ 52
グループ会社	101	98	+ 2	7	5	+ 2
特殊品 計	428	354	+ 74	121	66	+ 54

	売上高要因	営業利益要因
トクヤマ	<p>【S i 事業】</p> <p>電子材料 多結晶シリコン価格是正により増収 機能性粉体 乾式シリカ数量増により増収</p> <p>【機能材料事業】</p> <p>ファインケミカル ｶﾞﾚﾝｽﾞ 関連材料好調 シェイパル 通信・半導体製造装置向け堅調 ICケミカル 半導体・液晶向け高純度薬品販売数量増</p>	<p>【S i 事業】</p> <p>電子材料 多結晶シリコン価格是正により増益</p> <p>【機能材料事業】</p> <p>ファインケミカル ｶﾞﾚﾝｽﾞ 関連材料好調により増益 シェイパル 数量増により増益</p>
グループ	<p>フィガロ技研 センサ販売堅調により増収 トクヤマデンタル 輸出好調により増収 アイアンドティー 検査システム販売減により減収</p>	<p>フィガロ技研 販売数量増により増益 アイアンドティー コストダウンにより増益</p>



セグメント別 増減要因：セメント建材その他

(億円)

	売上高			営業利益		
	06/上	05/上	増減	06/上	05/上	増減
トクヤマ	204	198	+ 5	8	6	+ 1
グループ会社	230	197	+ 33	6	8	▲ 1
セメント建材他 計	435	396	+ 38	14	14	+ 0

	売上高要因	営業利益要因
トクヤマ	セメント 価格是正により微増収 資源環境 処理量増加により増収	セメント 価格是正により微増益
グループ	関西トクヤマ販売 連結期間による増収 シャノン 販売数量増により増収 生コン会社 販売数量減により減収	シャノン 原料コストUPにより減益



③ セグメント別 売上高/営業利益 (億円)

	06/上		05/上		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化学品	552	32	487	36	+ 65	13	▲ 3	▲ 9
トクヤマ	402	16	351	15	+ 50	-	+ 0	-
Gr. 会社(連結修正含む)	150	16	135	20	+ 14	-	▲ 4	-
特殊品	428	121	354	66	+ 74	21	+ 54	81
トクヤマ	327	113	255	61	+ 72	-	+ 52	-
Gr. 会社(連結修正含む)	101	7	98	5	+ 2	-	+ 2	-
セメント建材・他	435	14	396	14	+ 38	9	+ 0	1
トクヤマ	204	8	198	6	+ 5	-	+ 1	-
Gr. 会社(連結修正含む)	230	6	197	8	+ 33	-	▲ 1	-
計	1,417	169	1,237	117	+179	14	+ 51	43
セグメント間消去・全社費用	-	▲ 17	-	▲ 13	-	-	▲ 4	-
連結決算	1,417	151	1,237	103	+179	14	+ 47	45



④ 営業外損益明細(連結)

(億円)

		06/上	05/上	差
営業外収益	受取利息配当	3	3	+ 0
	その他	12	13	▲ 1
		16	17	▲ 1
営業外費用	支払利息・社債利息	7	8	+ 1
	その他	23	23	+ 0
		30	31	+ 1
営業外損益		▲ 14	▲ 14	+ 0



⑤ 特別損益明細(連結)

(億円)

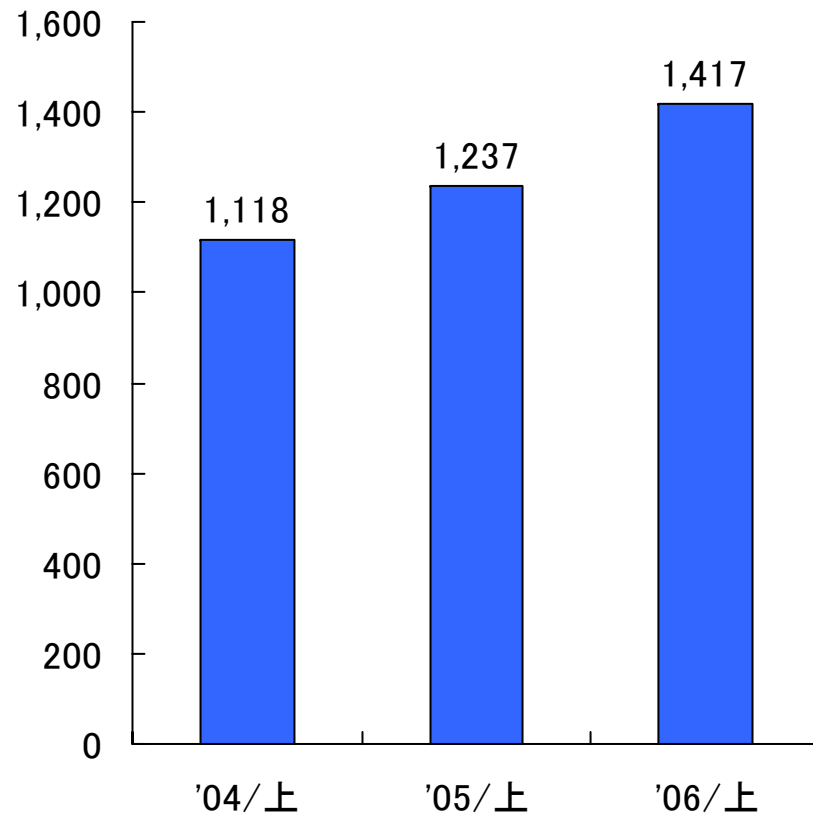
	06/上	05/上	差
特別利益	2	10	▲ 7
特別損失	3	6	+ 3
特別損益	▲ 0	+ 3	▲ 4



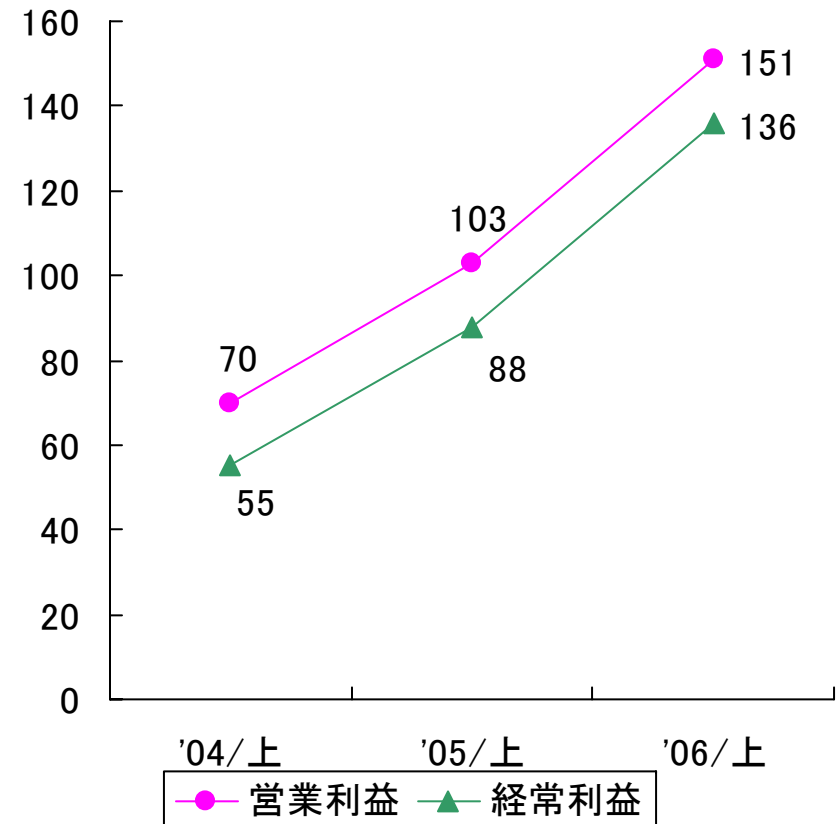
1-(3) 業績推移 (連結)

(億円)

売上推移



利益推移



2. 通期業績予想

- (1) 06年度下期の事業環境と対応
- (2) 06年度通期業績予想



2-(1) 06年度下期の事業環境と対応

- 多結晶シリコン需要増への対応を急ぐ
- 原燃料価格の大幅な変動を懸念



2-(2) 06年度通期業績予想

- ①通期予想の前提
- ②セグメント別 売上高/営業利益
(06通期予想/05通期実績対比)
- ③通期予想の修正
- ④セグメント別 売上高/営業利益推移
- ⑤ここ10年間の業績推移



① 06年度業績予想の前提

		05上 実績	05下 実績	06上 実績	06下 会社予想
国産ナフサ価格 (円/KL)		38,000	46,700	51,500	51,000
為替 (円/\$)	輸入	109	117	115	115
	輸出				110

【06上期の期初予想値】

国産ナフサ価格：上期52,700円/KL、下期50,800円/KL

為替：上期 輸入120円/\$；輸出115円/\$

下期 輸入115円/\$；輸出110円/\$



②セグメント別 売上高/営業利益(通期比較) (億円)

	06通期予想		05通期実績		増 減			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	%	営業利益	%
化学品	1,125	70	1,026	76	+98	9	▲6	▲9
トクヤマ	820	39	748	39	+71	-	▲0	-
Gr. 会社(連結修正含む)	305	31	278	37	+26	-	▲6	-
特殊品	898	246	767	161	+130	17	+84	52
トクヤマ	672	222	547	140	+124	-	+81	-
Gr. 会社(連結修正含む)	226	24	219	20	+6	-	+3	-
セメント建材・他	877	39	840	34	+36	4	+4	11
トクヤマ	418	24	416	20	+1	-	+3	-
Gr. 会社(連結修正含む)	459	15	423	14	+35	-	+0	-
計	2,900	355	2,633	272	+266	10	+82	30
セグメント間消去・全社費用	-	▲35	-	▲29	-	-	▲5	-
連結決算	2,900	320	2,633	243	+266	10	+76	31



③通期予想の修正

	06通期新予想		06通期当初予想		増 減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
化学品	1,125	70	1,081	42	+44	+28
特殊品	898	246	892	240	+6	+6
セメント建材・他	877	39	877	43	0	▲4
計	2,900	355	2,850	325	+50	+30
セグメント間消去・全社費用	-	▲35	-	▲35	-	0
連結決算	2,900	320	2,850	290	+50	+30

【営業利益の修正について】

(化学品 +28億円) 製品価格是正等による利益改善

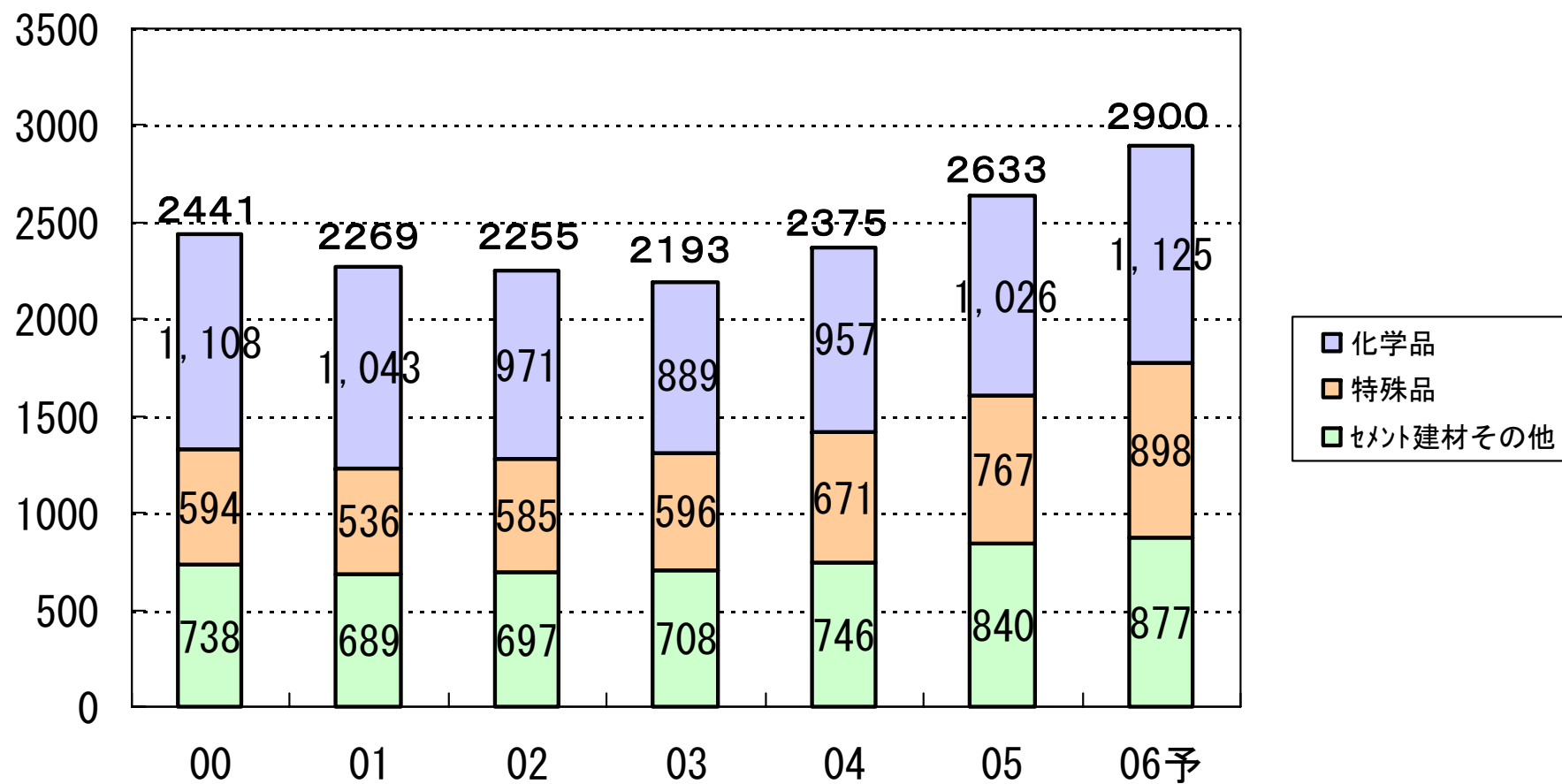
(特殊品 +6億円) 通期では、ほぼ当初予想通りの見込み

(セメント建材・他 ▲4億円) 通期では、ほぼ当初予想通りの見込み



④ セグメント別 売上高推移 (連結)

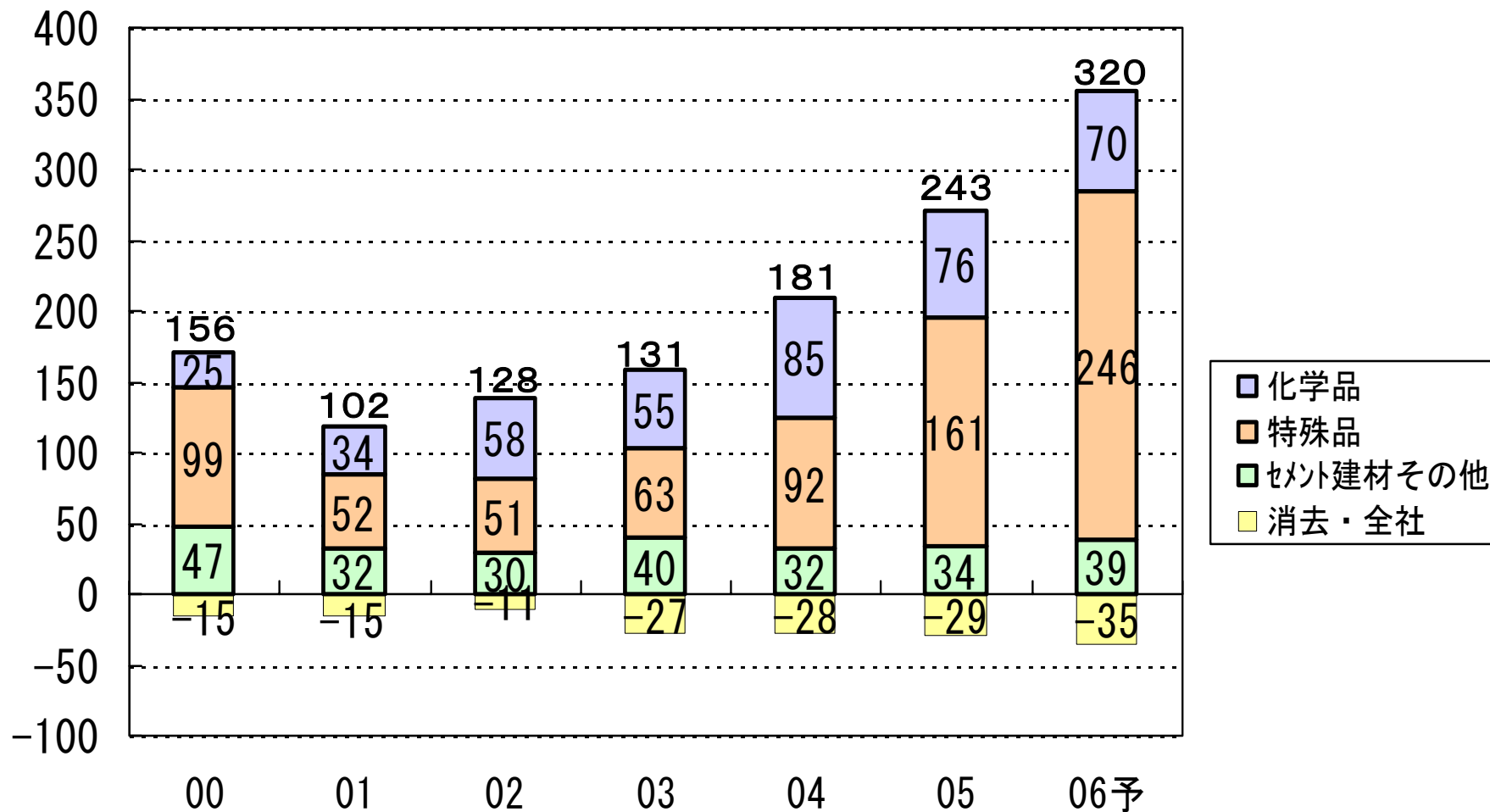
(億円)



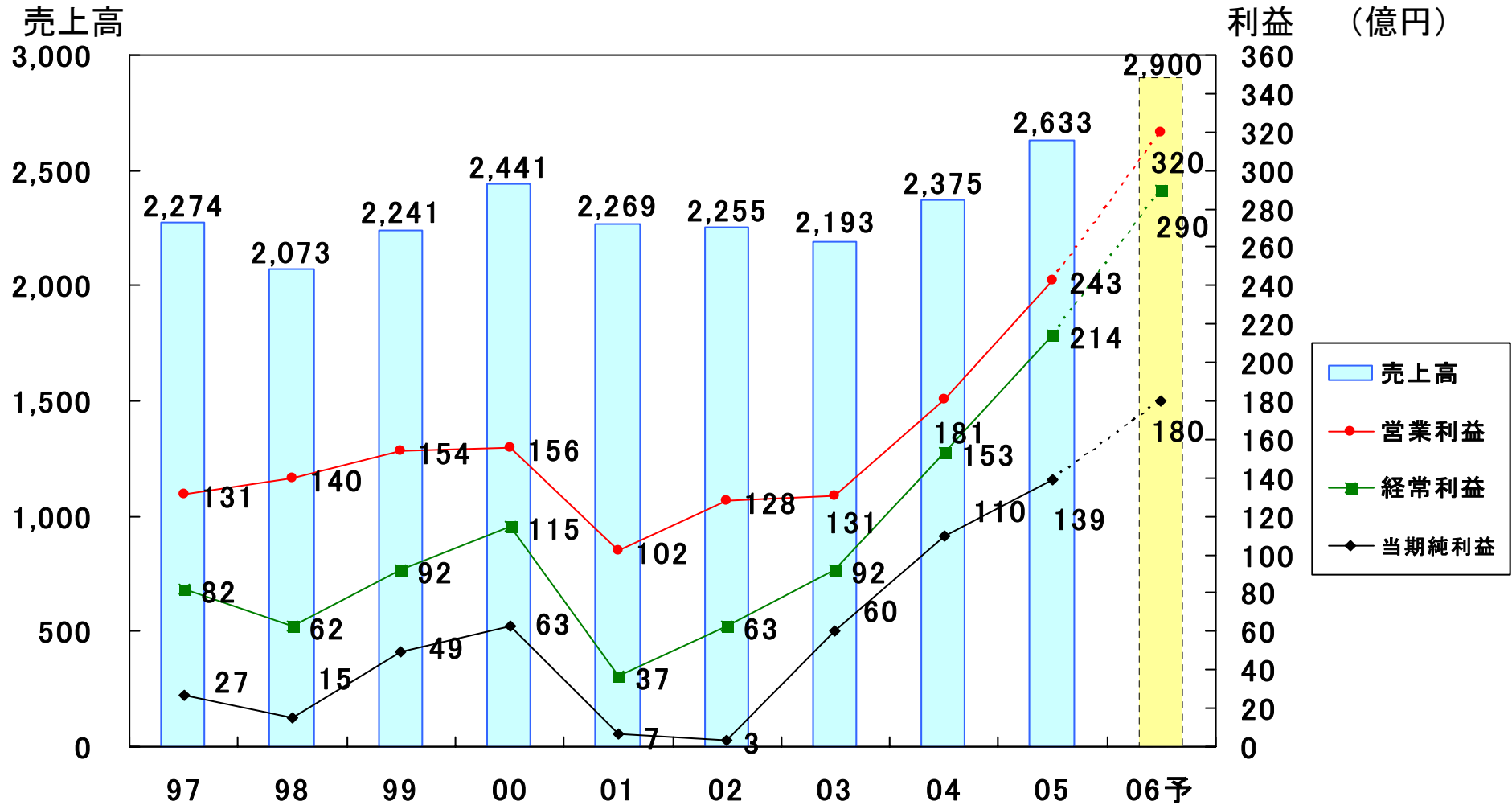
セグメント別 営業利益推移（連結）

（03年度以降は新会計処理方法により表示）

（億円）



⑤ ここ10年の業績推移（連結）



3. トピックス

(1) 電子材料事業の方向性

(2) 研究開発案件の進捗

- ▶ フッ化カルシウム
- ▶ 燃料電池用炭化水素系電解質膜
- ▶ 単結晶窒化アルミニウム



(1) 電子材料事業の方向性

● 電子材料事業の方向性

▶ VLD法に先行してジーマンス法の設備増強を実施する方向で最終調整中

▶ 半導体用(ジーマンス法)多結晶シリコン

場 所 : 徳山製造所東工場

規 模 : 約2,500t/年

スケジュール : 2009年春(完成目標)

▶ 太陽電池用(VLD法)多結晶シリコン

実証試験において、いくつかの問題点判明

引き続き問題解決に向けての対策を実施中 → 早期に技術確立を目指す



多結晶シリコン増設への課題と対応

● インフラ面における課題と対応

▶ 多結晶シリコン増設により電力等が不足する見込み

▶ 買電、事業の組替え、発電所増設等、最適対応を検討

● 損益・資金への影響と対応

▶ 投資金額を早急に確定する

▶ 損益、キャッシュ・フロー見通しについても早急に精査する

▶ 資金調達については金額、時期、方法を慎重に検討する



(2) 研究開発案件の進捗

▶ フッ化カルシウム（ステッパー用レンズ材料）

- ▶ ArFステッパーへの実装レベルに到達
- ▶ 量産技術の確立が課題

▶ 燃料電池用炭化水素系電解質膜（携帯端末用）

- ▶ 一部の顧客で電池システムに組込んだ評価へ
- ▶ 更なる高出力化が課題

▶ 単結晶窒化アルミニウム（深紫外発光素子の基板材料）

- ▶ つくば研究所に開発設備を新設、開発本格化
- ▶ 高品位単結晶薄膜を種とし、高速結晶厚膜化に取り組み中



4. 補足資料

- (1) 主要指標
- (2) 有利子負債
- (3) 金融収支
- (4) 連結子会社・持分法適用会社数他
- (5) 設備投資額推移（単体）
- (6) 有利子負債残高推移（連結）
- (7) 主要グループ会社売上高



(1) 主要指標①

		06年9月期		05年9月期		増 減	
		連結	単体	連結	単体	連結	単体
設備投資額	億円	97	84	111	101	▲ 13	▲ 16
減価償却実施額	億円	82	65	84	67	▲ 1	▲ 1
研究開発費	億円	50	40	45	34	+ 5	+ 5
金融収支	億円	▲ 4	7	▲ 4	3	+ 0	+ 4
期末人員	人	4,788	2,053	4,676	2,009	+112	+ 44



(1) 主要指標②

(億円)

		06年度予想		05年度		04年度	
		連結	単体	連結	単体	連結	単体
設備投資額	認可枠合計	230	215	245	221	175	150
	実績(計上)	—	—	209	184	143	125
減価償却費		182	146	181	142	184	146
研究開発費		111	89	93	72	88	68



(2)有利子負債

(億円)

	06年9月期		06年3月期		増 減	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体
短期借入金	239	174	201	122	+ 37	+ 52
長期借入金	225	169	285	226	▲ 60	▲ 56
社 債	300	300	348	348	▲ 48	▲ 48
合 計	764	643	835	696	▲ 70	▲ 52



(3) 金融収支

(億円)

	06年9月期		05年9月期		増 減	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体
受取利息 配当金	3	13	3	10	+ 0	+ 3
支払利息 社債利息	7	5	8	6	+ 0	+ 0
金融収支	▲ 4	+ 7	▲ 4	+ 3	+ 0	+ 4

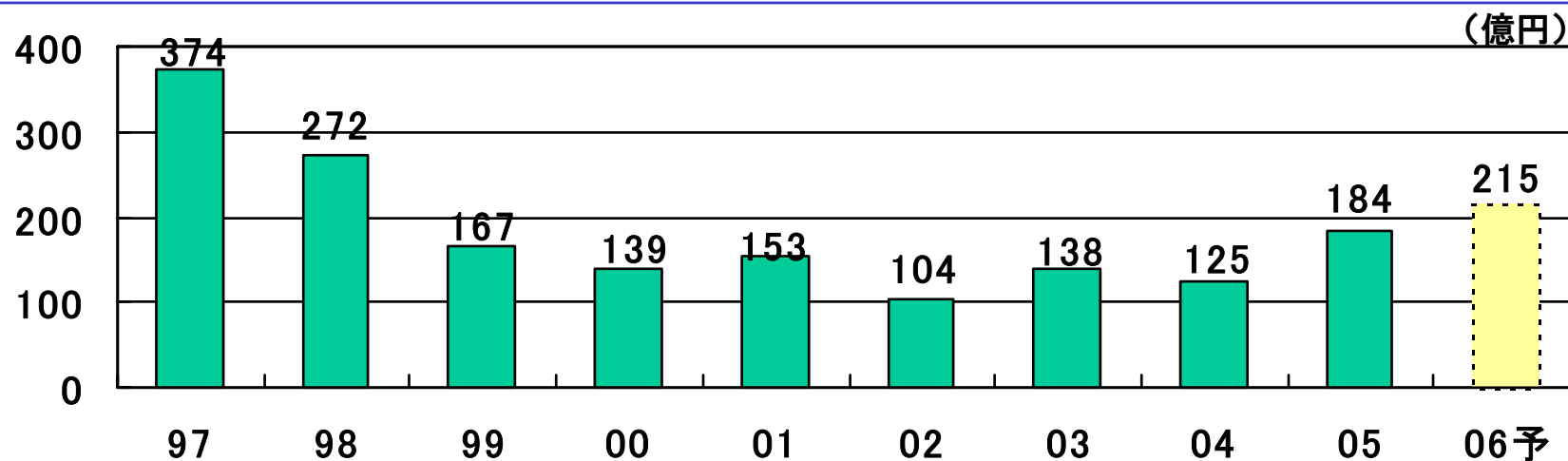


(4)連結子会社・持分法適用会社数

	06年9月期	06年3月期
連結子会社	43	43
持分法適用会社	16	16



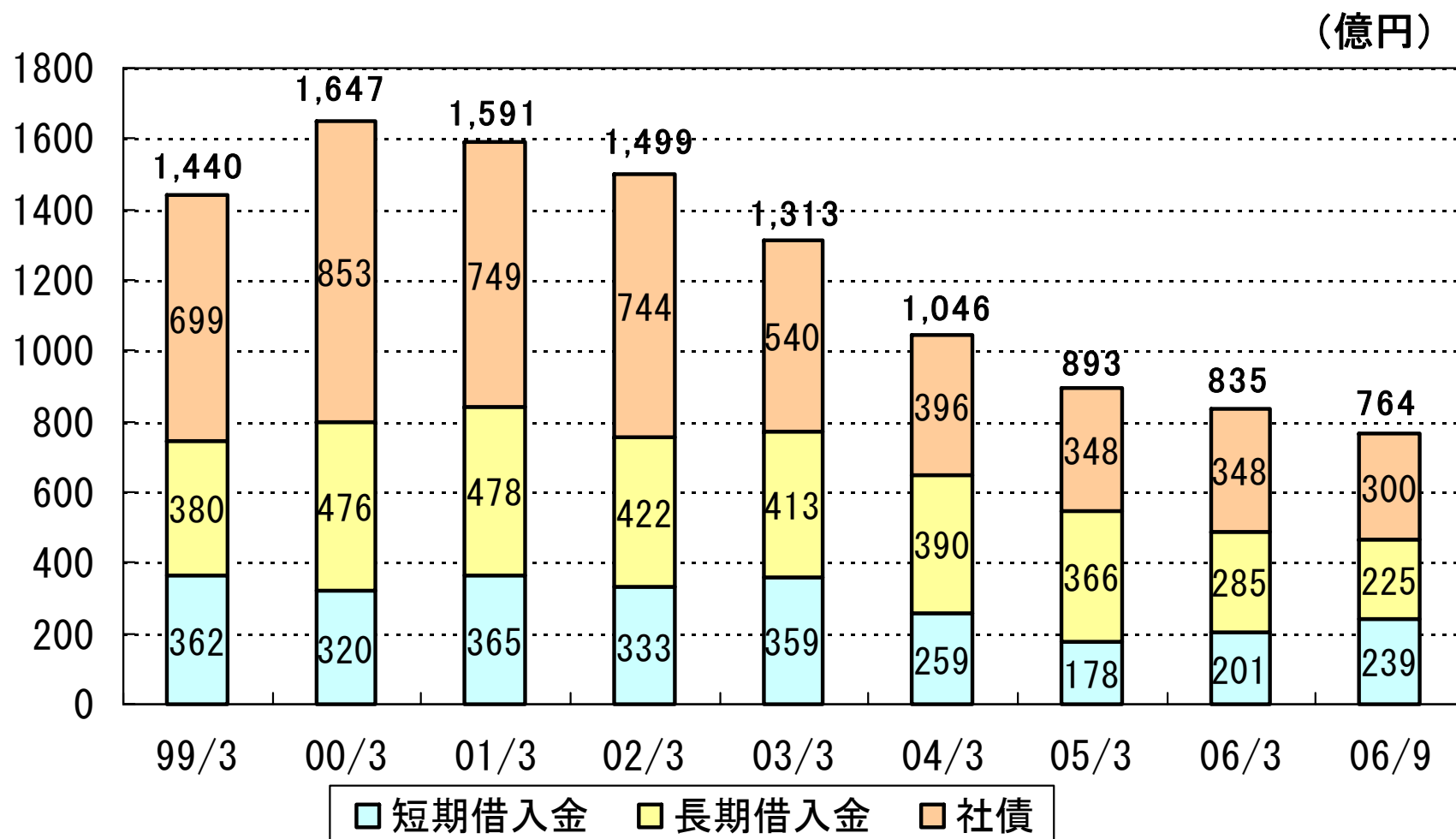
(5)設備投資額推移 (単体)



97~99	00~02	03~
東2号発電所 多結晶シリコン増設 シリカ増設 IPA増設 電解増設、マルチプラント 廃棄物燃料化設備 発電所排脱硫・脱硝・集塵 廃塩酸回収	多結晶シリコン増設 特殊シリカ増設 窒化アルミ増設 電解・EDC増設 廃棄物燃料化設備 8号ボイラー更新	廃棄物燃料化設備 多結晶シリコン、VLD実証P シリカ増設 現像液増設 9号タービン更新 CaF ₂ 生産設備 電解S&B 原塩栈橋更新 8号ボイラー更新 7号ボイラー更新



(6)有利子負債残高推移(連結)



(7)主要グループ会社売上高

(06/上 売上高上位10社)

	会社名	事業内容	資本金 (百万円)	出資比率 (%)	売上高 (百万円)	
					06/上	05/上
①	新第一塩ビ(株)	塩化ビニル樹脂の製造販売	2,000	71	14,539	13,466
②	サン・トックス(株)	プラスチックフィルムの製造販売	1,600	100	7,652	6,218
③	(株)シャノン	プラスチックサツの製造販売	495	100	6,513	5,460
④	関西トクヤマ販売(株)	生コンクリート、各種建設資材の販売	80	100	5,501	2,314
⑤	オグリ湘南(株)	セメント・生コンクリート、各種建設資材の販売	80	100	4,648	4,780
⑥	(株)トクヤマロジスティクス	内航海運業、倉庫業、一般貨物運送業、産業廃棄物収集運搬業	100	100	4,404	3,803
⑦	(株)トクヤマ通商	セメント・生コンクリート、各種建設資材の販売	50	100	3,691	3,875
⑧	周南システム産業(株)	宅地建物取引・建材販売、生損保保険代理店、工場構内作業請負	151	100	2,775	2,454
⑨	(株)エイアンドティー(12月決算)	臨床診断分析機器、試薬及び関連システムの販売	578	52	2,618	2,877
⑩	(株)トクショウ	生コンクリート、各種建設資材の販売	40	100	2,443	2,066



本資料に関するご注意

- 本資料は情報提供を目的とするものであり、何らかの勧誘を目的とするものではありません。
- 本資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものでありますが、不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- 本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じるいかなる損失に対しても、当社は責任を負いません。



生活を奏でる化学です

TOKUYAMA

